

実技模擬問題 4

【問題】

株式会社Eの第10期（平成29年10月1日～平成30年9月30日）の実績会計データおよび下記資料にもとづいて、「予算・実績比較損益計算書」を完成させなさい。

また、この予算・実績比較損益計算書にもとづいて、次の各問に答えなさい。

- （1）売上高，売上原価，売上総利益について，予算の達成状況を説明しなさい。
- （2）販売管理費合計と営業利益について，予算の執行状況を説明しなさい。
- （3）販売管理費のうち，執行率が経過割合を5ポイント以上上回っているものを列挙しなさい。
- （4）賞与の執行率の妥当性について説明しなさい。
- （5）修繕費の執行率の妥当性について説明しなさい。
- （6）支払利息と経常利益について，予算の執行（達成）状況を説明しなさい。

＜資料＞

1. 予算・実績比較損益計算書について

- （1）予算額欄の金額は，平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間の予算額である。
- （2）実績額欄には，実績会計データより、平成29年10月1日から平成29年12月31日までの3ヶ月間の実績額を入力すること。
- （3）差額欄には，予算額から実績額を控除した残額を入力すること。
- （4）執行率は，実績額の予算額に対する割合をパーセントで小数第1位まで表示すること。なお，パーセントの小数第1位未満の端数が生じた場合には端数を四捨五入すること。

2. その他の事項

- （1）賞与の支給時期は毎年6月と12月で，どちらの時期とも支給額はほぼ同額である。
- （2）修繕費は従来より臨時的に発生するものであり，年間を通じてあまり頻繁には発生していない。
- （3）10月から12月までの3か月の1年に対する経過割合は25%（3か月÷12か月×100）である。執行率と経過割合との関係で，予算の執行状況を判断すること。
- （4）各月の実績会計データは，便宜的に末日の日付で会計ソフトに入力されている。